

安全安心の町

交通事故・犯罪のないまち

幼児から老人までが安心して生活できる条例

安心・安全

安城という街で夜でも安心して出歩けるようにしたい

人と人のつながり

・活気のある商店街  
・安心安全な街

みんなのためになること  
安城市の発展、暮らしに役立つようなものができることに期待した。将来に向かって後悔しないように。

住みよいまち

子どもから高齢者まですみよいまちになる

市のルールとして根付くこと

基本理念・理論があること  
ルール・マナーがあること  
(自転車・学生・大人)  
意見交換ができること。  
自分の意見をもつこと。

市民が納得して守れる条例

透明性・説明責任  
これからのまちづくりは全て市民の判断ができ共感をもってやっているとできないと思います。

共有共感できるまち

共有・共感できるように！

地域力を高める

地域にはさまざまな問題があるけど、それに対向するのは地域の人。地域の体力や知力、連帯力を高めるきっかけにならなければいけません。

地域力をつける

防犯、防災、地方分税、地域のことは地域で。

地域自治

地域の要望・提案・問題(課題)をできるだけその地域で助け合っって処理できる体制作り  
これに行政がどう関わるか？

能動的自治

市民が積極的に自治に参加できるまちづくり

バランスのとれたまちづくり

住居・工場・商業施設・農業地

「バランスのよさ日本一」農・工・商・教・行  
歴史にとほしいのでこれから日本を代表するバランスの良い行政区になる様に！  
「家」という単位を力強く元気なものにする。

バランスの良い街になるように！

笑顔

安城市民が笑顔になるような

Happy

みんなが幸せになる条例

幸せを感じる格差があっても誰でも共通する想い。それは幸せを感じる感性だと思うから基本条例の理念としたい。

みんなの幸せを！

制定過程

「あんじょう」らしさをもった条例が総意で完成できればベストであるが、その間の取り組みを大切にしたい。

制定過程にも期待！

「みんなで作る」～10,000人参加～  
・どれだけ多くの市民が関わったか  
・どれだけ多くの人がこの条例を知っているか  
・小中学生高校生のどれだけ知っているか

市民全員が係わる条例がほしい

個性

理論的に分かりやすく一本芯の通ったもので安城の個性を示した条例づくり

個性があること！

ユニークであること  
他市の模倣ではなく、耳障りのよい美辞麗句を並べただけのものでなく、理念だけではない「実」(じつ)のある条例。

自治基本条例に期待すること！

その他

共生共助の精神を具現化すること。  
安城市民であることが自慢できる施策。

条例？

なぜ条例かを考えてみたい。

2案提案してあります。

動機の通り  
結婚動機福祉相談センターを作りたい  
身障者のバリアフリーを計りたい

環境首都を目指す安城にふさわしい自然環境景観条例が必要である。

自然環境を優先する町

自然環境を大切に！

自覚

・市民・行政・議会が自分の立場を認識  
・子どもからお年寄りまで条例を浸透。

協働

みんなで作るみんなの思いを一つに。環境首都をめざして。

市民協働のあり方

市民・行政・議会の関係

協働

従来の町内会と新住民の市民団体・NPOが共に参加できる条例であること。

役割分担

それぞれに出来ることを出し合いながらまちづくりを進めましょう

協働のあり方を明確に！

市民が主役に！

市民が主役

行政と市民との円滑な協働

市民条例

- 1.市民がつくる基本条例を完成させる事
- 2.市民が誰でもわかるような基本条例を作る事
- 3.全国にはじない基本条例を発表したい。

市民が主役

- ・情報公開(知る権利)
- ・市民が決める
- ・市民主体による公益サービスづくりのしくみ
- ・子供の権利
- ・議会基本条例

市民が主役として市政に間接民主主義から参画する責任を持ち行動する。

- ・コミュニティを再生する。
- ・ゴミ減量促進、全ゴミのリサイクル。